

# 小松島・南小松島・北小松島・千代地域の概況と市民アンケート結果

## ◆地域の位置等

- 「小松島小学校区」、「南小松島小学校区」、「北小松島小学校区」、「千代小学校区」の4つの小学校区で構成します。
- 本市の北部に位置し、徳島市と接しています。
- 地形は、大部分が平地となっており、北部に日ノ峰山があり、東部に海岸部を有しています。



図1 地域区分

## ◆地域の人口・世帯

- 本地域の人口及び世帯数は、令和2年3月末現在の住民基本台帳より、19,224人、9,340戸となっています。市全体の人口の推移と同様に、本地域においても人口減少が続いています。なお、近年の世帯数は横ばいとなっています。

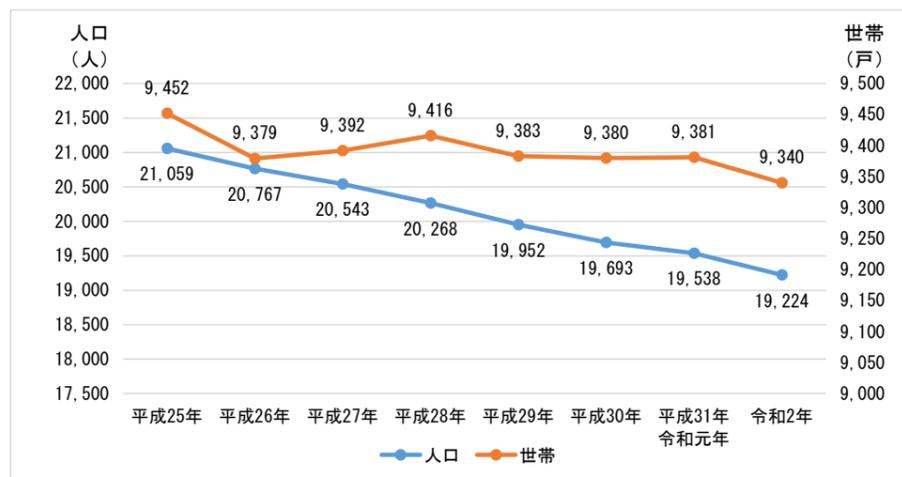


図2 地域の人口・世帯数の推移 各年3月末現在の住民基本台帳より集計

## ◆地域の土地利用

- 本地域の大部分が市街化区域に指定されています。
- 港湾部に工業系用途地域が指定され、JR 南小松島駅周辺に商業系用途地域が指定されているほか、周辺部に住居系用途地域が指定されています。
- 市役所などの公共施設、県立高等学校などの教育施設、徳島赤十字病院などの医療施設が立地し、利便性の高い中心市街地（中心拠点）が形成されています。

## ◆地域の都市施設

- 都市計画道路のほぼ全てが本地域内、あるいは本地域を經由しており、近年、国道55号と中心市街地を結ぶ都市計画道路江田小松島港線が開通しています。
- 都市計画公園は、徳島市にまたがる日峯大神子広域公園が開設されており、その他の主要な公園・緑地は、ステーションパーク、しおかぜ公園が整備されています。
- 公共下水道施設は、小松島雨水ポンプ場、外開雨水ポンプ場、金磯南雨水ポンプ場の3施設が供用されています。

## ◆アンケート結果（地域別集計）〈令和2年5月～6月実施〉

- 人口減少・少子高齢化による懸念事項は、「買い物をする場所がなくなる（利用者減少により、店舗が閉店）」41%、「空き家や空き地が増加し、防犯・防災上の問題や景観の悪化につながる」48%、「地域経済が低迷し、働く場所が少なくなる」33%が市平均値を上回っています。
- 一方、市の平均値を下回っているのは、「病院や小中学校等の公共施設が統廃合され、近くの施設がなくなる」43%、「農業の担い手不足により、耕作放棄地が増加する」24%、「鉄道やバスの利用者が減少し、運行本数や路線数の減少など公共交通が不便になる」36%、「地域活動やお祭りの維持が難しくなる等、地域の交流が少なくなる」14%となっています。
- まちづくりの方向性については、「コンパクトなまちづくりを進める」が68%と多いものの、市平均をやや下回っています。

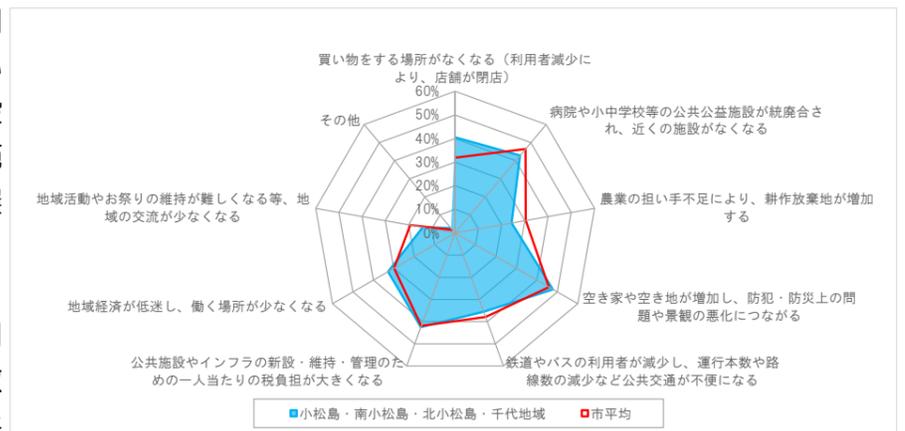


図3 人口減少・少子高齢化による懸念事項について

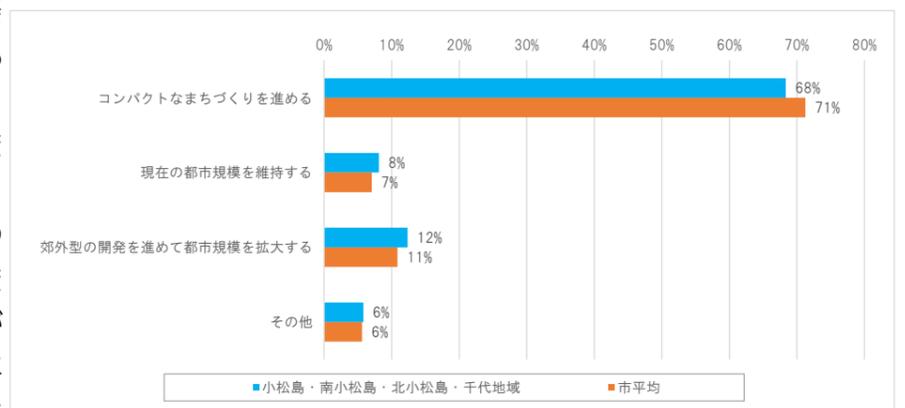


図4 まちづくりの方向性について

# 児安・芝田地域の概況と市民アンケート結果

## ◆地域の位置等

- 「児安小学校区」、「芝田小学校区」の2つの小学校区で構成します。
- 本市の西部に位置し、徳島市と接しています。
- 地形は、本地域の中央部から北部にかけて平地となっており、南西部は丘陵地帯となっています。



## ◆地域の都市施設

- 国道55号、主要地方道小松島佐那河内線、一般県道宮倉徳島線などが本地域内を通っています。

## ◆アンケート結果（地域別集計）〈令和2年5月～6月実施〉

- 人口減少・少子高齢化による懸念事項は、「病院や小中学校等の公共施設が統廃合され、近くの施設がなくなる」53%、「農業の担い手不足により、耕作放棄地が増加する」44%、「公共施設やインフラの新設・維持・管理のための一人当たりの税負担が大きくなる」43%、「地域活動やお祭りの維持が難しくなる等、地域の交流が少なくなる」22%が市平均値を上回っています。

- 一方、市の平均値を下回っているのは、「買い物をする場所がなくなる（利用者減少により、店舗が閉店）」27%、「空き家や空き地が増加し、防犯・防災上の問題や景観の悪化につながる」44%、「鉄道やバスの利用者が減少し、運行本数や路線数の減少など公共交通が不便になる」31%、「地域経済が低迷し、働く場所が少なくなる」27%となっています。

- まちまちづくりの方向性については、「コンパクトなまちづくりを進める」が79%と多く、市平均を上回っています。

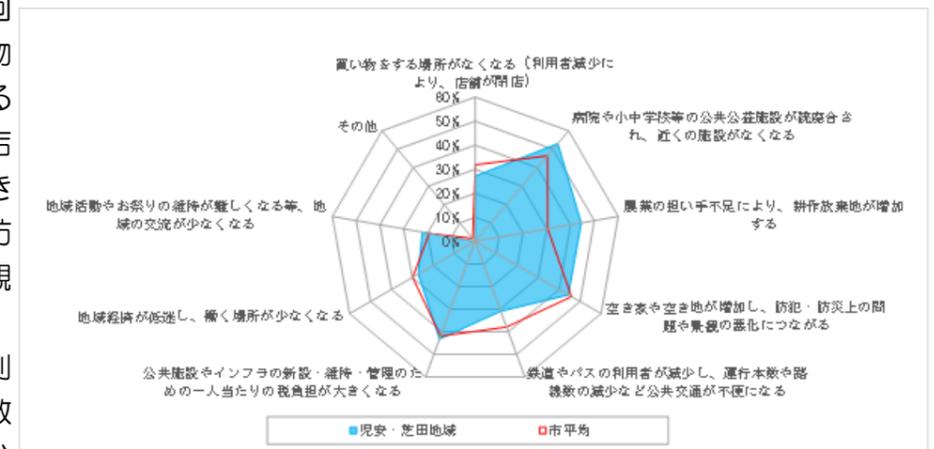


図3 人口減少・少子高齢化による懸念事項について

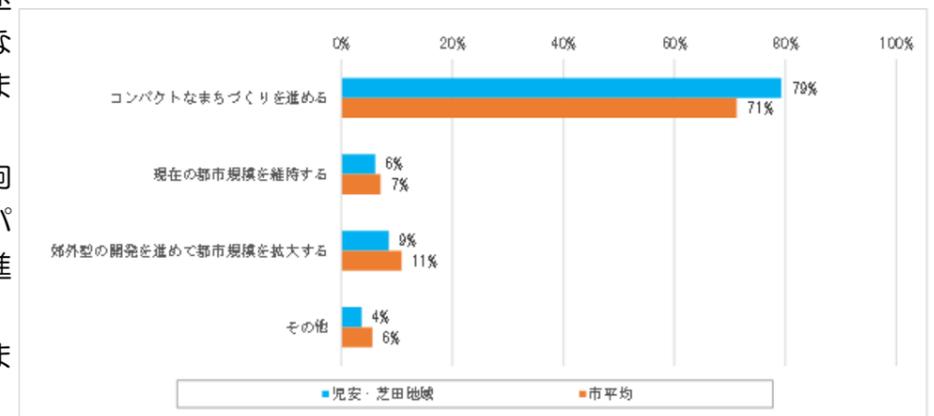


図4 まちづくりの方向性について

## ◆地域の人口・世帯

- 本地域の人口及び世帯数は、令和2年3月末現在の住民基本台帳より、5,396人、2,220戸となっています。本地域の人口は、減少傾向にあり、世帯数は緩やかな増加傾向となっています。

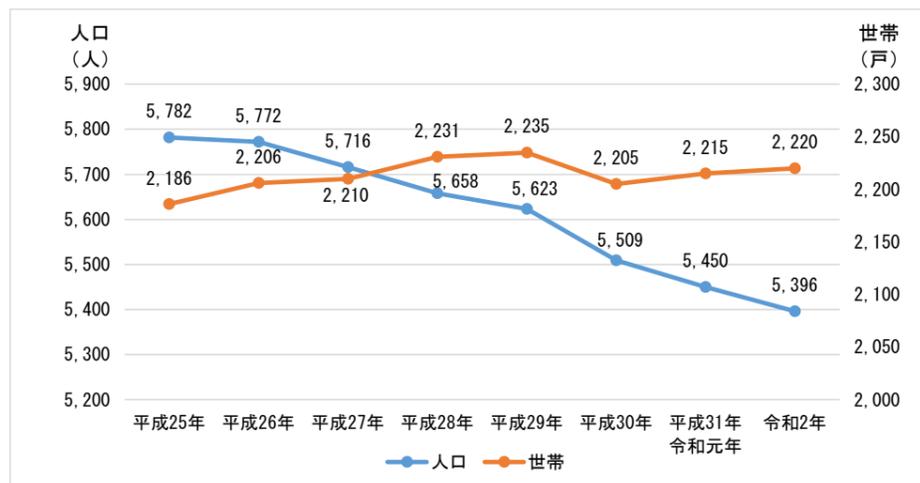


図2 地域の人口・世帯数の推移 各年3月末現在の住民基本台帳より集計

## ◆地域の土地利用

- 本地域の全域が市街化調整区域に指定されており、農地や山林などの自然的土地利用が大部分を占めています。
- 平地では、集団的な農地が広がっているほか、まとまりのある住宅地が点在しています。
- 国道55号の沿道の一部では、商業施設等が一定数立地しています。

# 坂野・和田島・新開地域の概況と市民アンケート結果

## ◆地域の位置等

- 「坂野小学校区」、「和田島小学校区」、「新開小学校区」の3つの小学校区で構成します。
- 本市の東部に位置し、阿南市と接しています。
- 地形は、全域が平地となっており、北部に海岸部を有しています。



図1 地域区分

## ◆地域の人口・世帯

- 本地域の人口及び世帯数は、令和2年3月末現在の住民基本台帳より、10,079人、4,447戸となっている。市全体の人口の推移と同様に、本地域においても人口減少が続いています。

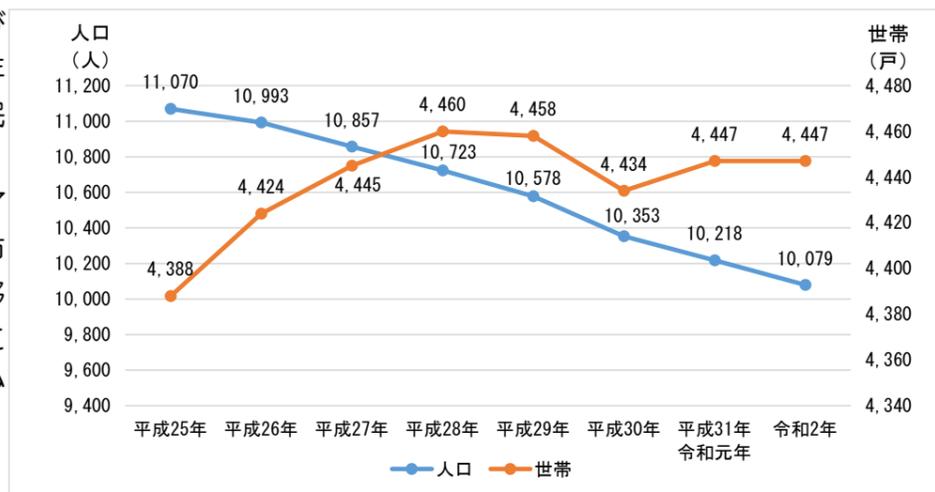


図2 地域の人口・世帯数の推移 各年3月末現在の住民基本台帳より集計

## ◆地域の土地利用

- 沿岸部を主体に市街化区域が指定され、その他は市街化調整区域に指定されています。
- 市街化区域では、港湾部において工業系用途地域が指定され、JR阿波赤石駅に近接する大林町周辺については、商業系用途地域または住居系用途地域が指定されています。
- 市街化調整区域では、集団的な農地が広がっているほか、まとまりのある住宅地が点在しています。

## ◆地域の都市施設

- 国道55号、国道55号阿南道路が通り、その他の主要な道路として、一般県道和田島赤石線、一般県道徳島小松島線、一般県道坂野羽ノ浦線などが通っています。
- 主要な公園・緑地として、JAあいさい緑地（和田島緑地）が整備されています。

## ◆アンケート結果（地域別集計）〈令和2年5月～6月実施〉

- 人口減少・少子高齢化による懸念事項は、「病院や小中学校等の公共施設が統廃合され、近くの施設がなくなる」47%、「農業の担い手不足により、耕作放棄地が増加する」35%、「鉄道やバスの利用者が減少し、運行本数や路線数の減少など公共交通が不便になる」43%、「地域活動やお祭りの維持が難しくなる等、地域の交流が少なくなる」28%が市平均値を上回っています。

- 一方、市の平均値を下回っているのは、「買い物をする場所がなくなる（利用者減少により、店舗が閉店）」23%、「空き家や空き地が増加し、防犯・防災上の問題や景観の悪化につながる」45%、「地域経済が低迷し、働く場所が少なくなる」26%となっています。

- まちづくりの方向性については、「コンパクトなまちづくりを進める」が73%と多く、市平均を上回っています。

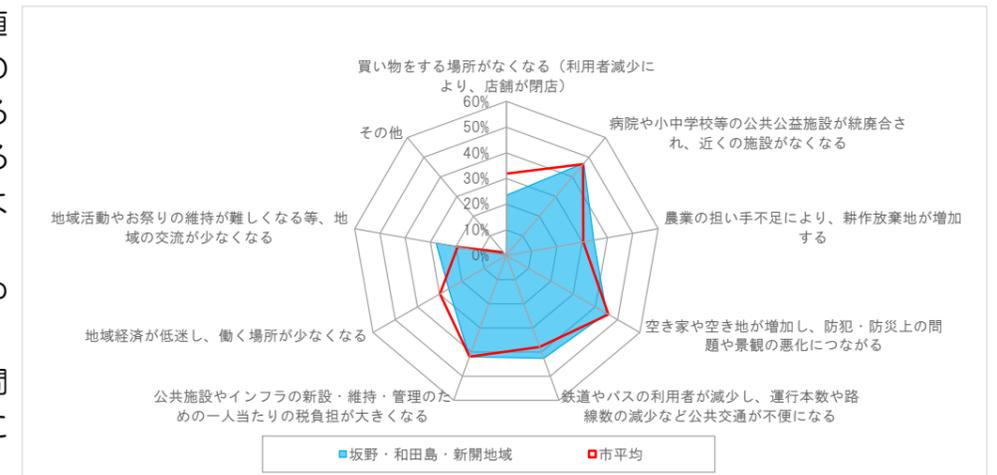


図3 人口減少・少子高齢化による懸念事項について

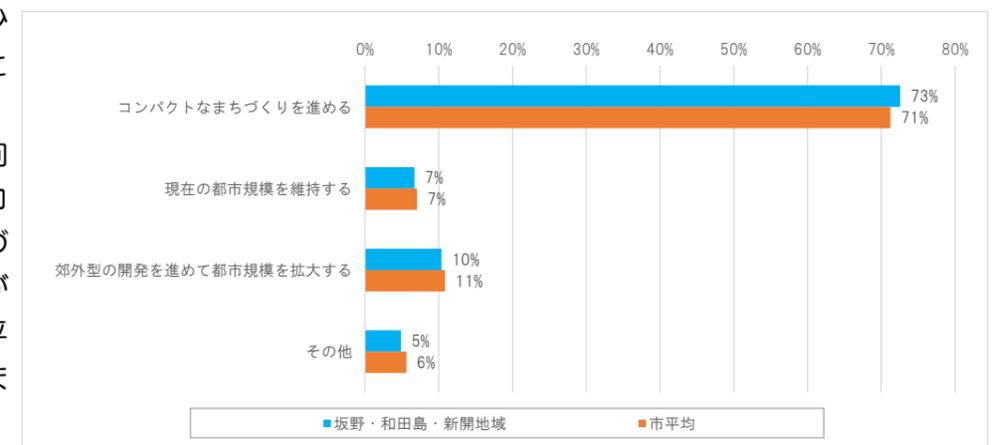


図4 まちづくりの方向性について

# 立江・櫛漕地域の概況と市民アンケート結果

## ◆地域の位置等

- 「立江小学校区」、「櫛漕小学校区」の2つの小学校区です。
- 本市の南部に位置し、阿南市、勝浦町と接しています。
- 地形は、本地域の中央部から北東部にかけて平地となっており、北西部から南部にかけては丘陵地帯となっています。



図1 地域区分

## ◆地域の都市施設

- 主要地方道阿南小松島線や一般県道宮倉徳島線などが本地域内を通っています。
- 主要な公園・緑地として、立江川親水公園、赤石運動広場が整備されています。

## ◆アンケート結果（地域別集計）〈令和2年5月～6月実施〉

- 人口減少・少子高齢化による懸念事項は、「病院や小中学校等の公共施設が統廃合され、近くの施設がなくなる」53%、「鉄道やバスの利用者が減少し、運行本数や路線数の減少など公共交通が不便になる」43%、「地域経済が低迷し、働く場所が少なくなる」35%が市平均値を上回っています。

- 一方、市の平均値を下回っているのは、「買い物をする場所がなくなる(利用者減少により、店舗が閉店)」20%、「空き家や空き地が増加し、防犯・防災上の問題や景観の悪化につながる」43%、「公共施設やインフラの新設・維持・管理のための一人当たりの税負担が大きくなる」40%、「地域活動やお祭りの維持が難しくなる等、地域の交流が少なくなる」15%となっています。

- まちづくりの方向性については、「コンパクトなまちづくりを進める」が70%と多く、市平均とほぼ同じ割合です。

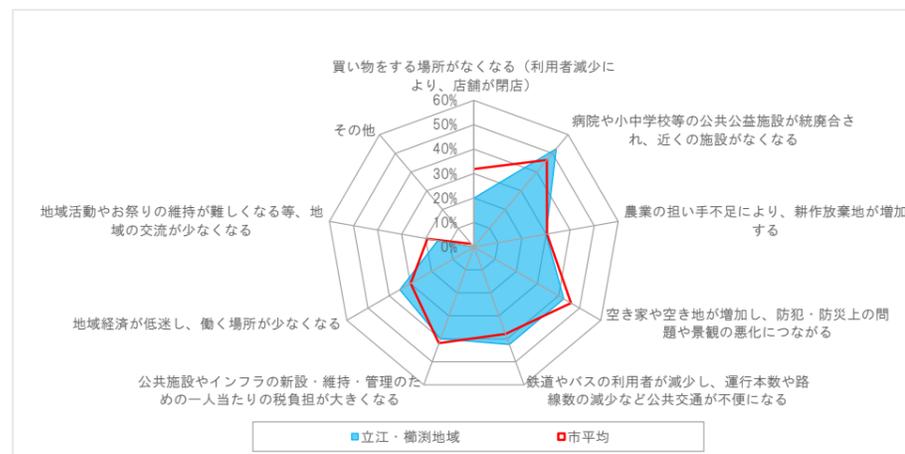
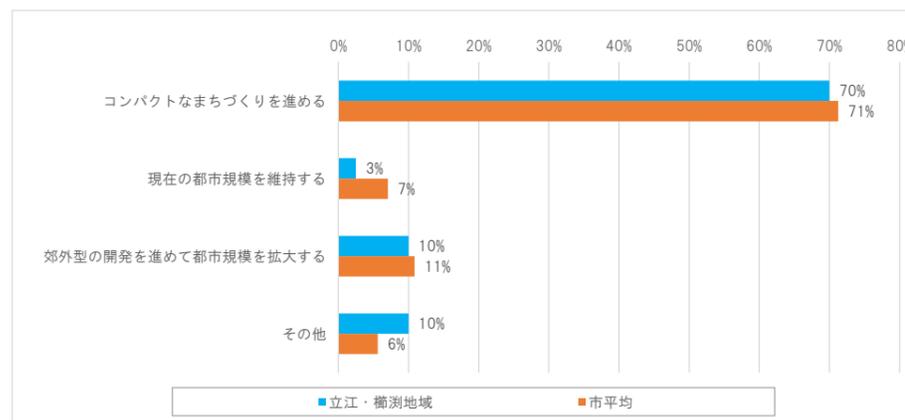


図3 人口減少・少子高齢化による懸念事項について  
図4 まちづくりの方向性について



## ◆地域の人口・世帯

- 本地域の人口及び世帯数は、令和2年3月末現在の住民基本台帳より、2,544人、1,076戸となっています。市全体の人口の推移と同様に、本地域においても人口減少が続いています。

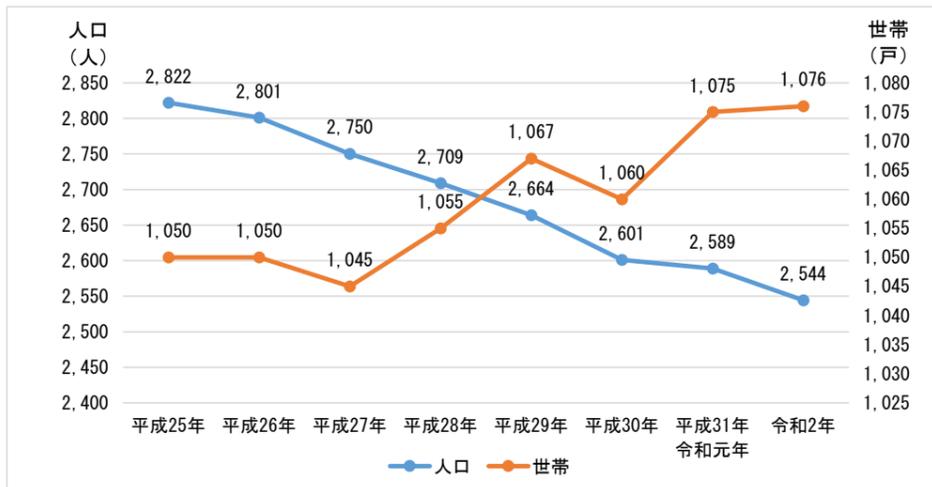


図2 地域の人口・世帯数の推移 各年3月末現在の住民基本台帳より集計

## ◆地域の土地利用

- 本地域のほぼ全域が市街化調整区域に指定されており、農地、山林などの自然的土地利用が大部分を占めています。
- 平地では、集団的な農地が広がっているほか、まとまりのある住宅地が点在しています。